

放射線に関わるリスクコミュニケーション活動状況

概要

- ・環境省では、環境中に放出された放射性物質対策を進めると同時に、放射線や地域の環境再生への取り組みなどについて、分かりやすい情報を提供しています。
- ・放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター、環境再生プラザを主な拠点として活動しています。

これまでの活動状況

5月31日時点

項目		2021年度 5月分	2021年度 累計
■放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター			(単位：回)
・自治体職員や相談員等の活動の支援	研修会	0	0
	専門家派遣	1	2
・住民の放射線に関する理解醸成の支援	住民セミナー	3	3
	車座意見交換会	0	2
■環境再生プラザ			(単位：回)
・専門家派遣	自治体など	4	7
	小中学校など	0	2
	その他	1	4
・移動展示		0 (0日)	3 (4日)
■その他			(WBC単位：日) (ガンマカメラ単位：台日)
・内部被ばく検査 (WBC)の支援		1	1
・ガンマカメラ活用 リスクコミュニケーション支援		14	15

(放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター実施分)

◆専門家派遣

- ・ 5/20 双葉町

◆住民セミナー

- ・ 5/6 田村市立船引南小学校 (1～2学年)
- ・ 5/6 田村市立船引南小学校 (3～4学年)
- ・ 5/6 田村市立船引南小学校 (6学年)

(環境再生プラザ実施分)

◆専門家派遣

<自治体>

- ・ 5/10 田村市生活環境課
- ・ 5/11 広野町環境防災課
- ・ 5/24 本宮市放射能除染・モニタリングセンター
- ・ 5/26 本宮市放射能対策課

<その他>

- ・ 5/11 国土交通省
東北地方整備局磐城国道事務所



磐城国道事務所の放射線講習会で、「放射線影響と日常での防護」などについて、講演する獨協医科大学放射線管理センターの高橋克彦先生

(菊池製作所実施分)

◆ガンマカメラによる放射線測定

ガンマカメラとは：
特定の場所の放射線量の
高低を色分けして着色す
ることで、線量を可視化
することができる特殊な
カメラです



ガンマカメラでの撮影風景

